

令和6年度 金津東小学校スクールプラン

育

あわら市 教育の基本理念

『ふるさとあわらを愛し 一人一人が夢や希望を持ち 個性が輝く教育』

感動と創造の教育

~ 進んで学び、思いやりのある、ねばり強い子の育成を目指して ~

诰

思いやりの心で力を合わせて生きる。考えて工夫し前向きに生きる。

心身ともに健康で明るく生きる

第3期 福井県教育振興 基本計画(4つの推進施策)

- ①個性を引き出す教育推進
- ②学びを楽しむ教育推進
- ③ふるさと教育推進
- 4 教職員の働き方改革推進

≪重点目標と具体的な取組≫



徳「豊かな心」の育成

(ひ)ろい心で助け合う子

◎規律と思いやりのある温かい集団作り

- ・一人一人の自己肯定感や自信を高め、ルールを守 り互いに認め合う温かい学級集団をつくる。
- ・授業とSST(ぽかぽかタイム)の連動
- ・あいさつ運動や心ふれ合う縦割り活動の充実
- ・特別活動の充実(社会でよりよく生きる力の獲得) │ ◎基礎基本の習得
- ・Q-Uの活用

◎心の力を伸ばす

- ・多様な意見を認め、話し合いで深める道徳授業
- ・家庭との連携(子育て研修の実施)
- ◎「学校が楽しい」安心できる居場所づくり
 - ・「学校いじめ防止基本方針」のもと、児童の人権意 識をさらに高める取組の充実(人権集会等)
 - ・特別支援教育の充実
 - ・児童理解に努め、安心して過ごせる学校・学級づ くりを目指す。

(毎日の見守り、学校生活に関するアンケートを もとにした面談、SC·SSWとの連携)

知「確かな学力」の育成

(が)んばって考え、やりぬく子

◎主体的・協働的に学ぶ力を育てる

- ・自ら課題や問いをもち、考え抜く力
- ・自分の考えを言葉にし表現する力(プレゼンカ)
- ・友達とのつながりの中で伝え合い、学び合う力 (スピーチ集会の実施)

- ・児童一人一人の基礎学力を伸ばす。(反復学習やチ ャレンジテスト等の取組)
- ・NIEにより語彙力、情報読解力、探究力を育成。

◎読書習慣の形成

・読書に親しむ時間を増やすとともに、家庭読書を 推進する。

◎「引き出す」「楽しむ」教育の推進

・児童一人一人が、わかる喜びや感動を実感できる│◎「東っ子」の安全・安心の確保 授業づくりに取り組む。ICT等を効果的に活用 し、個性を引き出す教育や学びを楽しむ教育の実 践を進める。

体「健やかな身体」の育成

(し)っかり体をきたえる子

◎東っ子 パワーアップ

- ・体育と業間運動を連携させた体力づくりを行い 運動量の確保と技能の向上を図る。
- ・目標をもってチャレンジする場を増やし、ねば り強く努力する心を育む。

◎元気な身体づくり「早起き・早寝・朝ごはん」

- ・基本的な生活習慣の確立(家庭との連携。生活 ふりかえりカード等)
- ・保健学習の充実(養護教諭を中心に、学校保健 委員会の実施、歯磨き指導等) 健康への関心を 高める。
- ・食育の推進(栄養教諭と連携し、給食の時間を 中心に全学年で実践)

・自他の「命」を守る意識を高めるため、危険回 避能力を育てる。(毎日の下校指導や交通安全 教室、防災避難訓練等の実施)

◎家庭との連携

・家庭と情報を共有し子ども達の健やかな成長を 共に支える。

家庭・地域との連携「信頼される学校」

・「東っ子スマートルール」をもとに、ネット利用 等について家庭で決めたルールを守る。

◎開かれた学校

- ・「家庭・地域・学校協議会」の開催・連携。
- ・積極的な情報発信。

(学校公開、個人面談、電話連絡、おたより、 Home & School、ホームページ等)

◎学びのつながりを重視

・こども園・中学校との連携を重視し、授業参観 や訪問等により情報交換を定期的に行う。

◎ふるさと教育の推進(体験学習の充実)

- ・地域での体験活動を全ての学年で実施し、ふる さとを愛する心を育む。積極的に地域に関わり、 探究したことを情報発信する。
- ・地域の方々から直接学ぶ機会を増やす。



≪数値目標≫



- ・友達や先生、地域の人に挨拶ができる児童90%
- ・多様性を認め、誰に対しても優しい言動ができる 児童90%以上
- ・発表やタブレット端末等で「自分の考えや思いを表 現することができる」児童90%以上

- ・業間運動や縄跳びをがんばる児童90%以上
- ・規則正しい生活習慣が身についていると感じる 保護者90%以上
- ・今年度中に交通安全教室 | 回、防災訓練2回、引渡 訓練丨回、不審者対応研修丨回実施
- ・学校が情報発信することで子どもの様子や教育活 動を適切に伝えていると感じる保護者90%以上
- ・「東っ子スマートルール」で決めたルールを守って いると感じる保護者90%以上
- ・地域に興味をもち、自分たちのふるさとが好きと 答える児童90%以上





・「授業がわかる」と答える児童90%以上

・「読書が好き」と答える児童90%以上

《働き方改革の推進》

・業務内容の見直しによる校務運営の効率化及びデジタル化 ・外部機関との効果的な連携(SCやSSW等、専門機関の積極的な参画)